

【日本の食のインフラを変える】

株式会社PECOFREE代表インタビューnote公開のお知らせ

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（本社：京都市中京区、代表取締役会長兼社長：澤田大輔、以下「FVC」）は、この度、FVCが運営するほうわ創業・事業承継支援投資事業有限責任組合（以下「ほうわ創業・事業承継支援ファンド」）の投資先企業である株式会社PECOFREE（本社：福岡市南区、代表取締役：川浪達雄、以下「PECOFREE」）の代表インタビュー及び事業紹介noteを公開したことをお知らせいたします。



◆今回のnoteについて

昨今の労働人口減少や市場縮小は、日本経済を支える基盤である中堅・中小企業に大きな影響を及ぼし、DXの取り組みが必要不可欠な状況となっています。

今回のnoteで紹介するPECOFREEは、今までなかった高校給食という未開拓市場を切り開き、各関係者が抱える様々な課題を同時に解決出来るビジネスモデルを構築した給食・食品業界のDX推進ベンチャー企業です。

同社は、当時老舗弁当事業者であった経営陣と、中堅・中小企業のDX支援事業者であり、ほうわ創業・事業承継支援ファンドの投資先であったイジゲングループ株式会社（現在はM&Aにより売却済み）のジョイントベンチャーとして生まれました。投資先が投資先を生んだ好循環事例といえます。

今回、PECOFREEの川浪代表とほうわ創業・事業承継支援ファンドの投資担当者との対談を通し、事業の紹介に加えて中堅・中小企業が抱える課題や解決策を、代表自身の経験を元に語って頂きました。

これからDXに取り組もうとされている全国の中堅・中小企業にとっても参考になる内容となっています。

note URL : <https://note.com/fvc/n/n051eaa3aa2dd>

◆株式会社 PECOFREE について

PECOFREE は学生の昼食問題に着目した事業を行っており、現在学生向けフードデリバリーアプリ「PECOFREE」を運営しています。「PECOFREE」導入校の学生は毎日数種類の中から昼食用の弁当を注文することができ、また弁当の供給を地域の給食会社と提携をすることで、地域の給食産業活性化に取り組んでいます。近年、共働き世帯の増加により弁当を持参出来ない学生が増えている一方で、不採算から学食事業者の学校からの撤退が相次いでいます。PECOFREE は、学校と給食会社をマッチングすることで学生・保護者・産業給食業者・学校それぞれの課題を解決し、新たな食のインフラとなることを目指しています。

URL : <https://pecofree.jp/>

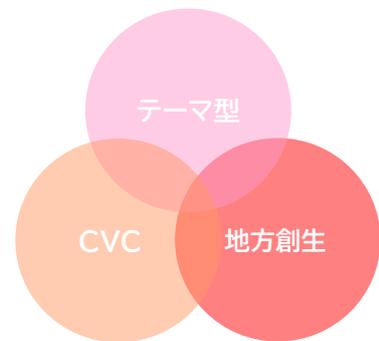
◆ほうわ創業・事業承継支援ファンドについて

ほうわ創業・事業承継支援ファンドは、株式会社豊和銀行と共同で設立したFVCとして初の九州地域での地方創生ファンドであり、創業支援、事業承継支援、地域活性化に寄与することを目的としています。豊和銀行の営業エリア（主に大分県）に本社や拠点を置く中小企業を、投資対象としています。豊和銀行の支援専門部署であるソリューション支援部が中心となり、地域に根差した深いネットワークを活用し、企業課題に応じて、地域内で活動する企業の伴走支援を行っています。また、当ファンドと連携協力協定を締結した大分県産業創造機構（おおいたスタートアップセンター）や大分県事業引継ぎ支援センターなどの支援機関が投資先の後方支援を行います。

2024年3月に、大分県で活躍するスタートアップ支援をより拡大するため、ファンド総額を増額し、ファンド期間延長を行いました。

◆フューチャーベンチャーキャピタル株式会社（FVC）について

京都に本社を置く独立系ベンチャーキャピタル。地域のベンチャー企業を支援するための「地方創生ファンド」と事業会社のオープンイノベーションを促進するための「CVC ファンド」、地域を問わず有望なベンチャー企業に投資を行う「テーマ型ファンド」に取り組んでいます。また、資金を投入するだけでなく、長期的な事業継続に向け、事業育成、人材育成、事業コンサルティングなどの支援を行っています。



商 号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
代表取締役会長兼社長 澤田 大輔
本 社 所 在 地 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 番地
烏丸中央ビル
証 券 コ ー ド 8462 東証スタンダード
U R L <https://www.fvc.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 担当：本田
メール：fvc-pr_kyoto@fvc.co.jp